



# TCU-COM

p01 後援会副会長挨拶

p02 平成30年度「大学と保護者との連絡会」取材レポート

p05 2018年度 就職動向と支援

p09 キャンパスSpot㊥

p11 クラブ活動紹介㊦

p17 Campus Topics

p19 平成30年度「大学と保護者との連絡会」実施結果

## 仕事に感動を

保護者並びに大学関係者の皆様には、後援会活動への御理解と御尽力を頂きこの場をお借りして深く感謝申し上げます。

私の長男・長女とも付属中学校から入学しましたので、10年間文化祭等で各校に通わせて頂きました。

私自身の職歴を簡単に申し上げますと、大学卒業後、土木技術者を目指し建設会社に就職しました。10年間は宅地・マンション敷地造成工事で関東地区を回り、その後10年間は栃木・福島・山梨県でゴルフ場建設工事等に従事、現場を20年経験後、支店と本社の店社勤務で20年が経ちました。

就職される学生の皆さんにおかれては、夢と希望に満ち溢れているかと思います。しかし、就職後企業内でのポジションが必ずしも希望と沿わない場合が多々あります。私も技術者としてトンネル・橋梁等の施工担当に就きたいとの思いがありましたが、それは叶いませんでした。しかし本社勤務になり、全国及び海外の土木・建築の各種工事の施工支援に係ることができましたので、今では技術者として満足しています。

また、入社後の造成工事は一人で担当していたため、経験・失敗工学の積み重ねでしたが、諸先輩の方々からの支援により、工事が無事竣工し開発検査済書を受領した時の感動は一生忘れることはありません。それまでの苦難は一瞬にして消え去り、今ではその喜びが思い出の数々となっています。

産業界は昨年4月からの「働き方改革関連法案」の施行により、「新たな価値を創造する働き方」を目指して行きます。現在、私の取組みは建設業界の改革を推進し、基幹産業としての定着を図ることです。生産性人口減少の続く中で、労働環境の改善は日本における喫緊の課題です。この改革を推進するためにも学生の皆さんの柔軟な感性が必要になります。学問・知識を身につけ教養を高め、今後新たな社会環境を創造し、改革の中核を担う人材として活躍することを期待します。

後援会はこれからも学生の生活環境改善のために取組んで行きますので、保護者の皆様からも忌憚のないご意見をお願い致します。



東京都市大学  
後援会副会長

**土屋 良直**

平成30年度

# 大学と保護者との連絡会

取材レポート

取材協力：東京都市大学 新聞会

「大学と保護者との連絡会」が9月1日(土)の地方5都市を皮切りに開催。北は札幌から南は福岡まで、全国20カ所の会場で行われ、今年も多くの参加者が訪れました。その最終日となる10月6日(土)に行われた世田谷キャンパス、横浜キャンパス、等々力キャンパスでの様子を保護者の方々からの感想を交えてお伝えします。



毎年秋に開催される「大学と保護者との連絡会」は、本学が旧称・武蔵工業大学だった昭和42年(1967年)から始まった恒例行事。平成元年(1989年)以降に、後援会と大学の共催になり、9月から10月にかけて全国規模で実施されています。本学教職員が、学生たちのキャンパスライフや最新の就職情報について報告を行うとともに、全国各地区会場では、大学OBも出席し、地元での卒業生の活動状況やUターン就職についても、アドバイスがもらえる機会として毎回好評をいただいております。

前日の雨も上がり、時折晴れ間ものぞいた東京・横浜地区では、世田谷キャンパス、横浜キャンパス、等々力キャンパスの3会場にて、今年度最後の連絡会が無事に開催され、多くの参加者で各キャンパスは賑わいました。



新たに生まれ変わった新6号館でも連絡会が開催されました



昼時の学生食堂では多くの参加者で賑わい長蛇の列ができていました

り、本学には多くの企業様から良い人材をぜひ紹介していただけないかという話を受けている。また、入社試験の際、英語の試験を行う企業が増加しているのも、それなりの対策が必要となっている。例年、入社試験に合格する学生の特徴は、基礎学力テストの成績が良い、文章の読み書きがしっかりできる、自分の考えていることを明確に話せる、研究内容を聞き手に合わせて筋道を立てて説明できる、質問された内容について適切な回答ができる、元気であるなどが挙げられる」との報告があると、熱心にメモを取る保護者の姿が多く見られました。

午後1時半からは工学部の連絡会がスタート。機械工学科の学科説明会では、学科主任の眞保良吉教授が、「昔より学ぶことへの目的意識を持った学生が減ってきている」との話があり、続く教務委員の櫻井俊彰准教授からは「高校までの学びとは異なり、知識を身に付けるだけではなく、課題解決に向けてどのように取り組んでいくべきか、自分で考える力を身に付け、社会に貢献できる人間になってほしい」との提言がありました。さらに、「機械工学科では、独自のカリキュラムによって社会で必要とされる人材を養成し、社会に送り出しています」と、今後に向けての意気込みが語られました。



## 新6号館のオープンによる様々な交流への期待と就職率の向上をアピール

世田谷キャンパスでは、午前10時から知識工学部の連絡会がスタート。経営システム工学科の会場では、学科主任の森博彦教授が、「現在、世田谷キャンパスのリニューアルが進んでおり、新6号館も使用開始され、研究室や理科実験室など、様々な利用がされている」と報告。大学の近況について、日本では60~70校しかランクインしていない「THE世界大学ランキング2017-2018」において、本学が1000位以内であることに触れ、「今後、300位以内に入ることを目指す」との意気込みも語られました。

続いて、同学科教務委員の兼子毅講師から、来年4月に学科名称を経営システム工学科から知能情報工学科に変更する(文科省承認済み)との報告があったうえで、「これからの時代の変化に合わせてAIなどを有効活用し、応用できる人材を育てていきたい」との説明がありました。

さらに、保護者にとっては最大の関心事である就職について、担当の穴田一講師より、「就職率は年々良好になってお



## 国家資格取得率の向上と就職支援体制の強化を報告

午前10時に始まった説明会では、まず環境学部長の大塚善樹教授から、環境学部の具体的な取り組みや、二子玉川夢キャンパスでの市民科学プロジェクトについて解説。また、中国の生態環境部との連携協定に触れ「大学全体で日中友好環境保全センターと連携協定を結んでいる」と説明したうえで、都市大のグローバル時代に即した教育プランに言及しました。

続いて国家資格である技術士環境部門について、「第一次試験に合格すると、技術士補という資格を得られる。昨年度、都市大の在学生全体で49名合格。環境学部からは、環境部門で17名が合格。これは、大学別合格者数で全国第5位(環



大型スクリーンに資料や画像を投影しながら説明会が行われました



機械工学科の学科説明会では、学科主任の眞保良吉教授が壇上に立って解説



午後から始まったメディア情報学部の全体説明会も多くの参加者で賑わいました



学科別の懇親会は、自己紹介からスタート。熱心で活発な質疑応答が交わされました

境部門では全国第2位)の成績。技術士の資格を得るには、本来7年以上の実務経験が必要であり、その上で第二次試験を受けることになる。大学に在学しているうちに資格を得ることができれば、実務経験は指導技術士の下で4年以上に短縮され、就職にも有利」と資格取得の利点を伝えました。

そして、環境マネジメント学科が環境経営システム学科へと学科名を変更するとの報告があり、「環境経営に注力していきたいので、経営という言葉をつけた。理系の枠を超えた環境社会における専門的な知識と技術を学習する」と締めました。

最後に、進学や就職について、教務担当のリジャル教授が、「より専門性の高い仕事をして行きたいのなら大学院に進む選択もある」と提案。キャリア担当の北村准教授からは、「本学の就職率は99%超。年間50回以上のセミナー開催に加え、企業研究会や希望者にはいつでも個人面談を実施している」と、充実した就職支援体制をアピールしました。

その後、外部講師をお招きしての講演会。ソーシャルデザイン研究所の採用コンサルタント渡邊剛氏から、「親から子へどんどん就職の話題を提供していくべき。様々な人との交流が成長、やりたいことの発見につながる」とアドバイスがあると、熱心に聴き入る保護者の姿が多く見られました。



### グローバル時代の活躍を見据えた教育プログラムを強調

等々力キャンパス会場では、午後1時より人間科学部児童

学科の説明会が実施されました。井戸ゆかり学部長が学部の沿革と概要を説明。続いて、保育士養成の教育プログラムと研究について、子育て支援体験、自己実現体験、農業体験などを例に、それぞれ具体的な活動内容を解説しました。

また、異文化交流として希望者は、幼児教育の分野では世界最先端であるニュージーランドの大学へ幼児教育研修に行くことができるなど、グローバル時代に対応した特色ある教育プランなどもアピールしました。

続いて登壇した実習委員長・キャリア委員長の園田巖准教授からは、実習内容や実習中の注意事項、さらに、就職支援の内容について具体的な説明があり、就職先は幼稚園や保育施設だけでなく公務員として市区町村や近隣都県に就職する学生もいるなど、多様な進路があることが伝えられました。

最後に、海外研修について担当の小林由利子教授が、「TAP」と「TUCP」の概要と児童学科のカンタベリー大学(NZ)とウーロンゴン大学(豪州)における「海外研修」の魅力を紹介しました。その後、就職、進路についての説明を終えると、会場を教室から学生ホールへと移し、希望者との個人相談を経て、連絡会は盛況のうちに幕を閉じました。

なお、今年度の全国の連絡会へのご参加は1,480世帯、2,015名。大学と保護者との連携が、学生のキャンパスライフの向上、さらには卒業後の進路に大きな影響を及ぼします。この会が大切な情報交換の場として、より一層有意義なものになるよう、今後の充実と発展が期待されます。



人間科学部児童学科の小林由利子教授からは留学プログラムについての説明がありました



会場を移して行われた個別相談会では、熱心に話を聴いている参加者の姿が印象的でした

#### 福岡会場

### 共に考え、信頼に応える。

世田谷キャンパス 学生支援センター課長 河合 大

今年で52回目を迎えた「大学と保護者との連絡会」は全国20会場で開催されました。今回は、9月9日(日)開催の『福岡会場』からご報告いたします。

『福岡会場』は、福岡市の天神地区にある「ホテルモントレ ラ・スール福岡」を会場に開催し、18世帯23名の保護者の皆様にご参加いただき、本学からは教職員計2名で担当いたしました。

大学の近況、学修システム、進級要件や成績表の解説、学生生活支援体制、インターンシップ、就職・大学院進学等について資料とパワーポイント画面を用い、また、制度説明においては具体的な例を話に交えて全体会を進行いたしました。

プレゼンテーション形式のため、説明中は一方向的になってしまう中であっても熱心に聴講いただき、保護者の皆様のご期待やご心配が説明する者に伝わる会となりました。説明を受けて様々にご質問をいただき、また、全体会後の個別相談も多くご参加いただきました。

個別相談では、成績や進路が相談の中心になります。各制度の解説やご子息ご息女の成績等の説明を行い技術的な話し合いをしつつ、「親として今の時期にサポートすることは何か。」といったご自身の行動への助言を求める保護者も珍しくありません。心底にはご子息ご息女の幸ある将来への切なる願い、まさに親心そのものを、遠く離れた福岡の個別相談で特に感じました。

本連絡会は、どこにいても保護者が誰も抱く想いに心を寄せて共に考えつつ、高い満足を提供する信頼ある大学であり続けることの意義と使命を感じる機会となりました。

大学の姿を確認し、想いを伝える場として、今後も本連絡会を活用いただければ幸いです。





経営システム工学科 1年  
鈴木 翔太君のご両親

キャンパス内がとても綺麗で設備も整っていましたので、良い大学生活が送れると思います。職員の方々の対応も良かったです。



電気電子工学科 1年  
松岡 尚典君のお父さん

今、息子が1年に在籍しており、もう一人の息子も都市大卒。設備面が非常に綺麗で、特に新6号館は“カッコ良い”建物でした。



機械工学科 1年  
熊井 優祐君のご両親

各担当教授からの話にも非常に分かりやすく、丁寧な印象を受けました。学生の主体性を大切にするという教育方針が良いと感じました。



原子力安全工学科 4年  
三浦 孝祐君のご両親

4年生の息子は、来年から大学院に進学します。こんな綺麗な新6号館で学ぶことができる今の学生たちを、羨ましく思いました。



機械工学科 3年  
米田 隼人君のお父さん

子供たちが学ぶキャンパスの雰囲気や授業内容など、リアルな学校の様子を見学できました。キャンパスは“今風”で綺麗でした。



医用工学科 3年  
木山 敬君のお父さん

息子が3年に在籍しています。私と同じ工学系のキャリアを歩む息子の将来の展望を考えるにあたり、とても参考になりました。



自然科学科 4年  
伊藤 道玄君のお母さん

お世話になった素晴らしい大学。地球科学研究室での学びを生かして、就職率に貢献できるよう、息子には頑張ってもらいたいです。



医用工学科 1年  
森 勇輝君のお母さん

入学式ではじっくり見ることができなかったキャンパスの様子を見学できました。海外留学の話に興味深く、息子を参加させたいとなりました。



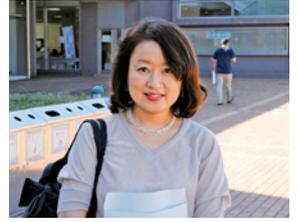
情報システム学科 3年  
椛田 朋彦君のお父さん

学生と親との関係のヒントを与えてくれる良い機会。現代の就職状況の実態を、学生目線で説明してくれたことが印象に残りました。



環境マネジメント学科 1年  
野口 優太君のご両親

子供の性格など、どのように大学に汲み取ってもらえるのかを聞きにきました。キャンパスの雰囲気は良く、外観の印象もよかったです。



社会メディア学科 1年  
相川 怜那さんのお母さん

娘がどこかで学生生活を送っているかを見学に来ました。キャンパス内は綺麗で静かで、雰囲気も良く、とても過ごしやすかったです。



環境創生工学科 3年  
菅野 航太君のご両親

就職ガイダンスなどを聞いてみて、きめ細かい指導がされていると感じました。先生と学生との距離の近さを実感して安心しました。



情報システム学科 2年  
進藤 瑞樹君のご両親

キャンパスがごちゃまじりしているおかげで、学生と教員の距離も近く、学部独自の雰囲気など、“らしさ”も感じられたのが好印象でした。

## 参加された保護者の方々の感想

取材にご協力いただきありがとうございました。



児童学科 4年  
高橋 果南さんのお母さん

娘は4年生で進路も決まっているので、最後だと思って初参加。広い視野を持つことが出来る子供に成長したことを実感できました。



都市生活学科 3年  
矢内 泰成君のお母さん

毎年参加しています。息子はヘリオス(アマフト)に所属していますが、学業とスポーツの両立、頑張ってください。



児童学科 1年  
宇田川 静さんのご両親

等々力はキャンパスの雰囲気が明るく開放的で好印象でした。児童学科とはどんな学科なのか、参加したことで理解が深まりました。



都市生活学科 2年  
井口 ケイイチさんのお母さん

家では友達や授業の話など大学のことをよく話します。TAPにも参加しましたが、友だちの大切さを学んだようなので行かせてよかったです。

## 就職環境の変化

企業の採用意欲は依然として高く、2019年3月卒業予定学生の新卒求人倍率(リクルートワークス研究所調べ)は1.88倍(昨年1.78倍)となり、昨年と比較しても、一人当たりの求人数は増加の傾向にあります。

先般、経団連会長の発表を受け、就職活動のスケジュールが話題となっていますが、当面は変更することなく、求人情報の公開時期は大学3年生の3月、採用選考時期は大学4年生の6月となる見込みです。一方で、近年は企業の採用選考は前述のスケジュールに沿わない早期化の傾向にあり、就活生が混乱する一因となっております。本学では早期化のスケジュールにも学生が対応できるよう、キャリア支援イベントの実施時期やガイダンスの内容を適正に変更しながら、学生への意識付けの徹底を実施した結果、今年度も多くの学生から良い結果報告を受けることができています。

ただ、ここ数年本学の学生に限らない傾向ですが、複数の内定を得る学生と、なかなか内定を獲得することができない学生との差が大きくなってきていると感じています。今後も引き続き全学生に対して、準備の大切さを伝えていきたいと思っております。

学生が内定を獲得するために、「(基礎力+専門力)×職業的態度×就職活動力」を高めることが必要であると本学のキャリア関連の担当者で共有しています。これは低学年時から面接や応募書類作成、筆記試験対策などの「就職活動力」を高める対策を行うということではありません。低学年時にはキャリアの意識を高める内容の授業やガイダンスを行い、「基礎力」を高める授業や課外活動への取り組みの重要性、インターンシップへの積極的な参加の効果を伝えます。また、学年が上がってからは全員が研究室に配属される本学の強みを生かし「専門力」を高めることを意識するように伝えていきます。就職活動を迎える時期には、就職指導の専門家が設計した「就職活動力」を高めるプログラムを多数開催し、そのプログラムに積極的に参加することで良い結果につながっています。

また、ここ最近の一つの特徴として社会からはグローバル化へ対応できる人材の育成への求めが強まっています。海外インターンシップの推進や英会話力を高める支援をはじめとするグローバル化への対応も一層進めております。

来年度、2020年3月卒業生も、採用選考時期が今年度と同様となる予定です。就職活動の時期の変更はありませんが、国内外の経済や政治の変動による環境の変化の可能性は高まっていると思います。学生が変化に戸惑い、不利益を被らないように本学としても十分に対策をしてゆきます。保護者の皆様からも学生への直接的、また情報提供などの間接的なご支援も一層賜りますようお願いいたします。

## 本学の取り組み

従来の就職支援業務の枠を超えて、キャリア全般に関わる幅広く充

実したサービスを提供できる「キャリア支援センター」を各キャンパスに設置しています。

各キャンパスのキャリア支援センターには専門の相談員が常駐し、就職の相談のみならず、職業選択や進学など、将来の進路についての確かなアドバイスを受けることができます。常駐しているスタッフの多くがキャリアカウンセラーの有資格者であり、キャリアに関することはどんなことでも安心して相談をする環境ができています。卒業生や先輩学生による密度の濃い情報をはじめ、各社の求人、公務員、Uターン、就職活動支援サービス会社の各種資料なども豊富に提供しています。

また、各学科では就職担当教員がキャリア支援センターと連携して強力に学生をバックアップし、学科の強みや特徴を活かして、一人ひとりのニーズにあった支援を展開しています。就職支援行事は学内で実施するものだけで100回以上にのぼり、徹底してキャリアについて考える機会をつくっています。更に本学の前身である武威工業大学時代からの強みである「社会で活躍する卒業生」のご協力を得て、学部・学科ごとに企業・業界セミナーや相談会を実施するなど、充実した支援体制を整えています。

もちろん就職に関する個別相談も充実しており、カウンセラーによる面接指導や履歴書添削だけでなく、自己分析等の指導も積極的に行い、基礎から応用まで、幅広い支援をしています。

それ以外にも、本学の学生を指定して寄せられる独自の求人だけを検索出来るシステムなどにより、内定獲得を目指す学生を強力に支援しています。

## 2018年度の状況

今年度の就職状況は、文部科学省発表の2018年10月時点での国公立大学の平均内定率は「77.0%」となりました。本学では10月時点で学部生でも8割を超え、大学院生では9割近い内定率となっております。人間科学部の保育業界志望者は、これから選考のピークを迎えることを考えましても、全国平均に比べて十分健闘してはおりますが、本学としましては、まだ活動を継続している学生に対しての支援は最優先と認識しております。これからも学内での企業セミナーや継続して求人を行っている企業の情報を収集し一層の就職活動の支援を実施してまいります。これからの時期、「モチベーションの維持」「活動を続ける姿勢」が重要なポイントとなります。

## 最後に

学生の進路に関する意識が多様化し、変化の大きな就職環境に対応すべく、今後ますますキャリア支援業務に注力してまいりますので、引き続き保護者の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 2018年度 主な就職内定先企業等 (2018年12月1日現在) ※スペースの関係上、一部を抜粋して記載しています。数値は就職内定者数。

工学部・知識工学部・大学院 工学研究科		環境情報学部・環境学部・メディア情報学部 大学院 環境情報学専攻		都市生活学部・人間科学部 大学院 都市生活学専攻	
■電気機器・精密機器	大成建設……………5	■情報通信サービス	トヨタホーム……………1	■建設・不動産・住宅	ダイハツ工業……………1
キヤノン……………11	清水建設……………5	NSD……………4	ミサワホーム……………1	大和ハウス工業……………3	伊藤園……………1
富士電機……………7	大和ハウス工業……………4	NECソリューションイノベータ……………3	日比谷アメニス……………1	清水総合開発……………2	■金融・保険業
NEC……………6	大林組……………4	ドコモ・システムズ……………2	ダイキンエアテクノ……………1	東急コミュニティー……………2	住友生命保険……………1
三菱電機……………6	鹿島建設……………3	富士通エフサス……………2	東急リニューアル……………1	積水ハウス……………1	メルリンチ日本証券……………1
京セラ……………6	東急建設……………2	日立システムズ……………1	■専門サービス業	LIXILグループ……………1	世田谷信用金庫……………1
沖電気工業……………5	竹中工務店……………1	NECネットワークス株式会社……………1	大日本コンサルタント……………2	日本総合住生活……………1	東急カード……………1
富士通……………4	■運輸	アルファシステムズ……………1	NEXCO中日本……………1	サンケイビル……………1	■公務(事務・福祉・保育等)
バイオニア……………4	JR東日本……………10	ヤフー……………1	いであ……………1	クリナップ……………1	渋谷区役所……………3
セイコーエプソン……………4	JR東海……………8	Sky……………1	アジア航測……………1	日本道路……………1	神奈川県庁……………2
オリオンバス……………4	東京急行電鉄……………4	レコチョク……………1	東急コミュニティー……………1	共立メンテナンス……………1	世田谷区役所……………1
日立製作所……………3	■情報通信サービス	ニフティ……………1	■公務	ジェイアール東日本都市開発……………1	大田区役所……………1
パナソニック……………3	NTTデータ……………4	■製造業	板橋区役所……………1	東急リパブル……………1	目黒区役所……………1
リコー……………2	日立ソリューションズ……………4	東急テクノシステム……………3	相模原市役所……………1	三菱地所プロパティマネジメント……………1	品川区役所……………1
ソニー……………1	富士ソフト……………3	ミネベアミツミ……………2	横浜市消防本部……………1	東急住宅リース……………1	町田市役所……………1
日本IBM……………1	NSD……………3	伊藤園……………2	ながの農業協同組合……………1	三菱地所コミュニティ……………1	川崎市役所……………1
浜松ホトニクス……………1	ソフトバンク……………2	NEC……………1	■その他	東京ガスリモデリング……………1	平塚市役所……………1
■輸送用機器	日立システムズ……………2	富士通……………1	JR東日本……………1	アサヒハウス工業……………1	成田市役所……………1
本田技研工業……………10	■公務	凸版印刷……………1	東京急行電鉄……………1	静岡セキスハイム不動産……………1	■保育業界
スズキ……………9	横浜市役所……………5	村田製作所……………1	日本通運……………1	■商業施設・ディスプレイ	保育園・幼稚園・施設等……………49
小糸製作所……………8	東京都庁……………4	沖電気工業……………1	イオンモール……………1	乃村工務社……………2	■その他
SUBARU……………6	国土交通省……………1	TDK……………1	三井不動産レジデンシャル……………1	イオンモール……………1	カルチャーコンビニエンスクラブ……………1
日産自動車……………4	神奈川県庁……………1	オカムラ……………1	スターバックスコーヒージャパン……………1	大和リース……………1	総合警備保障……………1
トヨタ自動車……………3	■その他	図書印刷……………1	セブン-イレブン・ジャパン……………1	OPA……………1	エイチ・アイ・エス……………1
いすゞ自動車……………3	東京電力ホールディングス……………9	■建設・設備	イツ・コミュニケーションズ……………1	スペース……………1	ゼンリン……………1
三菱自動車工業……………2	凸版印刷……………4	協和エクシオ……………2	東急リパブル……………1	バルコスペースシステムズ……………1	AOI Pro……………1
マツダ……………2	首都高速道路……………3	日本総合住生活……………1	青森テレビ……………1	三菱伊勢丹プロパティ・デザイン……………1	東急イーライフデザイン……………1
ヤマハ発動機……………2	都市再生機構……………1	大東建託……………1	プラス……………1	■運輸・製造・卸売・小売	ウォンテッドリー……………1
日野自動車……………2	三菱重工業……………1	東急建設……………1	東急セキュリティ……………1	神奈川中央交通……………2	ピクシブ……………1
■建設	日本航空……………1	フジタ……………1	URコミュニティ……………1	カブコン……………1	デイリースポーツ……………1

## 採用活動・進学スケジュール(例)

学部3年生 / 修士1年生												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
就活ポイント	●自己分析		●インターンシップエントリー参加				●業界研究・職種研究					
企業			インターンシップ ナビプレオープン	説明会セミナー	インターンシップ				インターンシップ			就職ナビ プラットフォーム
公務員 (受験する職種等によりスケジュールが異なりますので、参考としてご覧ください)					インターンシップ						公告 国家公務員	公告 地方公務員
進学	大学院に進学するか、就職するか熟慮(年内を目処に) 進学の意思を決定次第、志望校の選定および受験科目の確認。受験勉強開始										指導教授等と相談の上 進学先の決定	

学部4年生 / 修士2年生												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
就活ポイント	●自己分析		●企業研究									
企業	●エントリー ●会社説明会		●採用試験				10月以降も継続して採用を行っている企業があります。内定を獲得するまで粘り強く取り組みましょう。					
公務員 (受験する職種等によりスケジュールが異なりますので、参考としてご覧ください)	受付期間 国家公務員		1次試験		2次試験		最終合格					
	受付期間 地方公務員		1次試験		2次試験		最終合格					
進学 (本学の場合)	大学院推薦入試(A日程) 願書提出/試験		大学院一般入試(B日程) 願書提出/試験					大学院一般入試(C日程) 願書提出/試験				

## 本学のキャリア支援スケジュール

●キャリア支援とは、就職、進学など卒業後の進路決定の支援や、将来のために役立つ準備を行う機会や情報の提供などを行うことと考えています。

1年生	2年生	3年生										
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月			
技術系の強みを生かせるよう普段から授業をしっかり頑張ろう!		技術系の素養を高めるため、専門科目の学修に注力(技術系就職の基礎)										
<b>4月:</b> ・キャリアガイダンス ・進路適性検査 ・進路適性検査のフォローアップガイダンス ・キャリアポートフォリオガイダンス  <b>4月/5月:</b> インターンシップ対策講座  <b>8月/9月:</b> インターンシップ等に積極的に参加  <b>9月:</b> ・キャリアポートフォリオガイダンス	<b>4月:</b> ・キャリアガイダンス ・進路適性検査 ・進路適性検査のフォローアップガイダンス ・キャリアポートフォリオガイダンス  <b>4月/5月:</b> インターンシップ対策講座  <b>8月/9月:</b> インターンシップ等に積極的に参加  <b>9月:</b> ・キャリアポートフォリオガイダンス	就職支援プログラム	就活基礎力養成			公務員対策						
就職支援プログラムには全学年参加可能です。			・就活入門ガイダンス ・インターンシップガイダンス ・インターンシップのための企業説明会 ・SPI模試・解説 ・公務員ガイダンス			いざ! 本番に向けて、本エントリー攻略 ・公務員試験対策講座(集中講座) ・就職ガイダンス ・進路適性検査 ・就職セミナー ・履歴書・エントリーシート対策講座 ・SPI模試 ・面接・グループディスカッション対策講座						
キャリアアップ講座(全学年対象となります): 5月~12月 課外英会話講座(40分/日・年間100回) 他												

1年生	2年生	3年生										
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月			
進路・勉強方法を考える		着実に就活力をつけていくための基礎力講座<履歴書・ES対策>										
<b>4月:</b> ・キャリアガイダンス ・進路適性検査 ・進路適性検査のフォローアップガイダンス ・キャリアポートフォリオガイダンス  <b>4月/5月:</b> インターンシップ対策講座  <b>8月/9月:</b> インターンシップ等に積極的に参加  <b>9月~:</b> ・キャリアポートフォリオガイダンス ・キャリアデザイン基礎	<b>4月:</b> ・キャリアガイダンス ・進路適性検査 ・進路適性検査のフォローアップガイダンス ・キャリアポートフォリオガイダンス  <b>4月/5月:</b> インターンシップ対策講座  <b>8月/9月:</b> インターンシップ等に積極的に参加  <b>9月~:</b> ・キャリアポートフォリオガイダンス ・キャリアデザイン	就職支援プログラム	就活基礎力養成			本エントリー攻略、実践対策講座						
就職支援プログラムには全学年参加可能です。			・就活入門ガイダンス ・インターンシップガイダンス ・SPI模試・解説 ・マナー講座 ・公務員ガイダンス ・就職セミナー			・進路適性検査 ・SPI模試 ・履歴書・エントリーシート対策講座 ・文章力強化講座・業界・会社の選び方 ・面接(個人・集団)対策講座 ・グループディスカッション対策講座 ・内定者懇談会・マナー講座						
		前期進路面談		公務員対策								
		・3年生全員対象 1人1人の進路に合わせて進路希望登録書による個別指導		公務員試験対策講座(集中講座)				後期進路面談				
				SPI対策				・3年生全員対象 夏休みの振り返りを基に本番に向けた支援と対策方法の指導				
				民間試験対策講座(集中講座)				学部別業界・仕事研究会				
				・学科の特性に合った企業を招へいし、業界や仕事についてご講演いただきます。								
キャリアアップ講座(全学年対象となります): 5月~12月 課外英会話講座(40分/日・年間100回) 他												

1年生	2年生	3年生										
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月			
授業を通じ、社会のトビラを開けてみよう!		社会人へのトビラ「社会人基礎力」を向上させよう!										
<b>4月:</b> ・キャリアガイダンス ・進路適性検査  <b>4月/9月:</b> キャリアポートフォリオガイダンス(フレッシュアーズゼミと連動)  <b>7月:</b> インターンシップガイダンス  <b>8月/9月:</b> インターンシップ等に積極的に参加	<b>4月:</b> ・キャリアガイダンス ・進路適性検査  <b>4月/9月/12月:</b> キャリアポートフォリオガイダンス  <b>7月:</b> インターンシップガイダンス  <b>8月/9月:</b> インターンシップ等に積極的に参加	就職支援プログラム	就活基礎力養成			公務員対策						
就職支援プログラムには全学年参加可能です。			・特別講義 ・就活入門ガイダンス ・就職講演会 ・インターンシップガイダンス ・SPI模試・解説 ・マナー講座			いざ! 本番に向けて! 本エントリー攻略 ・公務員試験対策講座(集中講座) ・就職ガイダンス ・進路適性検査 ・就職講演会 ・履歴書・エントリーシート対策講座 ・SPI集中対策						
				資格				進路個人面談				
				各種資格対策講座(宅建講座)								
キャリアアップ講座(全学年対象となります): 5月~12月 課外英会話講座(40分/日・年間100回) 他												

3 年 生				4 年 生															
12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
				今までの学修を生かし、卒業研究に注力(研究内容をしっかりアピールできるように)							内定獲得まで諦めない支援								
最終総仕上げ				進路相談強化				個別指導の徹底											
<ul style="list-style-type: none"> <li>就職ガイダンス(リターンガイダンス含む)</li> <li>履歴書・エントリーシート対策</li> <li>筆記対策(SPI、一般常識)</li> <li>面接・グループディスカッション講座</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>求人紹介など内定直結型の支援を行います。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>大学求人票と進路希望登録書を有効活用し、志望・適正に応じた求人の紹介を徹底的に行います。</li> </ul>											
<b>公務員対策</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>公務員試験対策講座(集中講座)</li> <li>公務員試験模擬試験</li> <li>面接カード記入ガイダンス</li> </ul>																			
<b>進路個人面談</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>3年生全員対象</li> <li>学校推薦対象者決定</li> <li>大学院進学希望調査</li> </ul>																			
業界研究会			企業研究会	企業研究会															
<ul style="list-style-type: none"> <li>実際にお仕事をされている方をお招きして学内において各業界の説明会を行います。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>人事担当者、OB、OGをお招きして学内において説明会を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>優良企業をお招きして学内において説明会を行います(随時)。</li> </ul>															

3 年 生				4 年 生															
12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
				徹底的な書く・話すチカラの強化…個人面談にて、履歴書を元に話す練習 <面接対策>							内定獲得まで諦めない支援								
最終総仕上げ				進路相談強化				個別指導の徹底											
<ul style="list-style-type: none"> <li>履歴書・エントリーシート対策</li> <li>面接・グループディスカッション講座</li> <li>学校推薦ガイダンス</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>進路希望登録書を元に面談</li> <li>求人紹介など内定直結型の支援を行います。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>大学求人票と進路希望登録書を有効活用し、志望・適正に応じた求人の紹介を徹底的に行います。</li> </ul>											
<b>公務員対策</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>公務員試験対策講座(集中講座)</li> <li>論述・面接対策</li> <li>公務員模擬試験</li> </ul>																			
<b>模擬面接&amp;グループディスカッション講座</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>採用コンサルタントによる徹底講座</li> </ul>																			
業界研究会			企業研究会	企業研究会															
<ul style="list-style-type: none"> <li>実際にお仕事をされている方をお招きして学内において各業界の説明会を行います。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>人事担当者、OB、OGをお招きして学内において説明会を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>優良企業をお招きして学内において説明会を行います(随時)。</li> </ul>															

3 年 生				4 年 生															
12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
				トビラの向こうへ! 就職活動スタート!							内定獲得まで諦めない支援								
				保育業界採用スタート→															
いざ!本番に向けて!本エントリー攻略		公務員対策		進路相談強化				個別指導の徹底											
<ul style="list-style-type: none"> <li>エントリーシート対策</li> <li>面接対策各種集中指導</li> <li>グループディスカッション対策</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>公務員試験対策講座(保育集中講座)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>履歴書・就職セミナー</li> <li>エントリーシート/グループディスカッション/面接対策</li> <li>採用情報提供</li> <li>個別面談</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>個別面談</li> <li>個別指導</li> <li>キャリアカウンターで随時相談受付</li> </ul>											
進路個人面談																			
<ul style="list-style-type: none"> <li>進路に合わせて個別指導</li> <li>進路希望登録書</li> </ul>																			
業界研究会			企業研究会	企業研究会															
<ul style="list-style-type: none"> <li>実際にお仕事をされている方をお招きして学内において各業界の説明会を行います。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>人事担当者、OB、OGをお招きして学内において説明会を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>優良企業をお招きして学内において説明会を行います(随時)。</li> </ul>															

## 世田谷キャンパス 新6号館の巻

昨年4月、世田谷キャンパスに新6号館が完成。この新たな研究実験棟の計画・建設は、創立90周年、100周年に向けた「アクションプラン2030」に基づく、世田谷キャンパスリニューアル計画の第一弾と位置づけられ進められたもの。キャンパス内の施設は順次建て替えが行われており、今後はキャンパス東側の解体や再整備が続く。世田谷キャンパスの教育環境向上に寄与する最先端の設備を備えた施設、さらに、そこで研究に励む先生や学生たちからの声を交えながら、各階ごとに新6号館の見どころをダイジェストで紹介する。



南西側外観は縦横ランダムに配された木製ルーバーで覆われている。設備や配管などの目隠しとすることで、周辺環境への配慮としている。

### 1F

#### 開放感を堪能できる明るい大空間

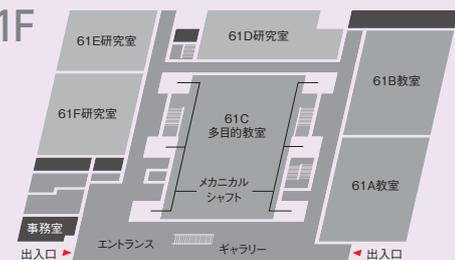
エントランスホールを抜けると、一気に開放的で明るい吹き抜け空間が広がる。1階の西側壁面は可動式のガラス引き戸を配し、室内と屋外のつながりを感じやすいオープンなギャラリースペース。吹き抜け階段上からの自然光が降り注ぎ、全体が明るく、加えて風通しも良い心地よい空間になっている。大人数が行き交うことを考慮した中央には、350人を収容できる多目的教室が配置され、その周りを共同研究室や事務室で囲むことにより、テナントの入れ替わりにスムーズに対応できる、商業施設をイメージしたようなフレキシブルな空間構成となっている。



1階エントランス(写真右上)の左手には最大350名が収容できる多目的教室(写真左)があります。また、各階ごとにテーマカラー(写真右下)が決まっており、研究室のネームプレートや床のカーペットなどで識別できるような工夫がされている。



### 1F

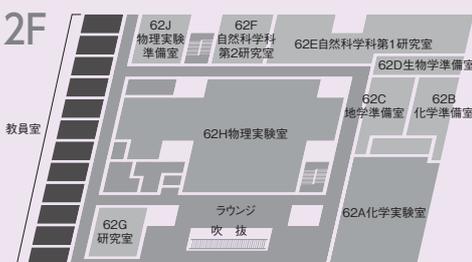


#### 人材&アイデアの交流を目指した新たな試み

創立100周年の2029年に向け、最新の研究設備を導入しながら、さらなる研究力の向上を目指す都市大。新6号館はまさに、次世代を担う研究人材の育成に相応しい施設といえる。一般教養系の実験室で構成される2階は、回廊状の廊下に沿って各研究室が配置される。各室はガラスパーテーションで仕切られ、可能な限り透明性が確保されたオープンな空間となっている。さらに、研究室をワンルーム化して共用可能にすることで、研究者や学生間の交流やアイデアの共有を環境面からバックアップ。人材交流を促進することによるシナジー効果が期待される。

### 2F

### 2F



#### \* 化学実験室

化学薬品をトレーに載せて運ぶことなどが考慮され、各実験テーブルの間隔をゆったりと配置。

#### \* 物理実験室

4人の先生が同時に授業を行えるほどの広さを有する物理実験室。壁や床から電源の取りにくい作業スペースは、安全面を考慮して天井から電源を確保。扉の開閉で暗室にできるスペースも完備されている。



知能工学部 自然科学科  
中島 保寿 准教授

私たち古生物学研究室は、地層に残された生命の痕跡である化石を発掘、分析し生命進化の謎を解き明かす研究に取り組んでいます。化石の詳しい鑑定は、光学顕微鏡や電子顕微鏡を使って行います。それらの準備室が完備されたお陰で研究もスムーズにできるようになりました。

季節によって移り変わる植物などを、たくさんの実験装置を使って分析しています。以前よりも研究室のスペースが広くなり、とても使いやすくなりました。また、空調設備がとても良くなりました。お陰で、常に室温を20度前後に保つことができますから、実験装置類も良好な状態で保管することができています。



知能工学部 自然科学科 蛭原 絹子 講師

主に脊椎動物を対象に研究を行う磯崎さん。



「小笠原諸島の土壌の研究をしています。発掘してきた石を細かく仕分けするのに、収納が多くなったお陰で整理整頓も非常に楽になりました」(自然科学科4年・伊藤道玄君・左)。「化石をハンマーで叩く音を気にせず作業に打ち込めるようになりました」(自然科学科4年・磯崎えりかさん・右)

蛭原先生の研究室にある棚の上には分析装置類がずらり。広々とした専用のテーブルも用意されたお陰で、大人数での実験もスムーズに。作業効率もグッとアップした。





通常より30cm程高い二重床のため天井は、圧迫感を緩和するよう、すべて配管がむき出しのスケルトン構造になる。



回廊に面して配置された各研究室の壁は、ガラスの間仕切りになっており、研究室室内での活動が外からも分かる。



研究に欠かせない高圧ガスボンベは、4Fのボンベ室で一括管理される。安全面でも万全の体制を整えている。



研究や実験で使用した薬品とその排水などは建物内の廃液処理施設で一括処理し、浄化後一般排水としている。

## 3F 今後の利用が期待される フリースペース

3階には機械系実験室や製図室、共同実験室が入る。さらに、今後、キャンパスの整備計画を推進するうえで必要となる予備スペースとして、間仕切りをなくしたフレキシブルなフリースペースが準備されている。しばらくはキャンパス内の建て替えによる研究室などの引っ越し先としての活用も見込まれている。



63H研究室には、これからの建て替えに伴い経営システム工学科の研究室が入る予定。



## 4F フレキシブルな空間を生かした多彩なレイアウト

鉄骨造地上4階建て施設の最上階は、22区画に分けられ、エネルギー化学系を中心に11の研究室が入居する。開放的なガラス張りの教室や研究室は、学生にオープンな学び&交流の場として広く活用されている。また、座学だけでなく、ワークショップなどの実践的な教育が行える場として、2つの研究室でシェアする学生居室を実験的に設置。実験室もいくつかの研究室でシェアをすることで、共有化へ向けたキャンパスの取り組みを具現化させている。ガラスの間仕切りも、各研究室の状況を一目で把握できることが、事故や災害時の安全を担保し、より安心で快適な交流の場となることが期待される。

工学部 エネルギー化学科  
塩月 雅士 准教授



高圧ガスを使う研究室が多い新6号館は、各部屋の扉上部にガス漏れ警報器を設置。異常が検知されると1階の事務室だけでなく、1号館の警備室にも通報される。

これまでバラバラだった10の研究室がワンフロアに集まったことで、学生はもちろん、教員間の交流も活発に。気軽に声をかけやすくなったお陰で、研究室間で実験装置のシェアもしやすくなりました。さらに、気軽に意見を交換しあえる環境になったことで、思わぬ化学反応が起こって、新しいアイデアがこれまで以上に生まれやすくなったと思います。



「気持ちいい空間での研究は、集中力も高まり脳が活性化されて良いアイデアも浮かんできます」とエネルギー化学科4年の土井壮太君(左)。「大学院へ進み、引き続き今の研究に打ち込みます。設備も充実していて研究しやすい環境で学べることが、今から楽しみです」と話すエネルギー化学科4年・渡邊元樹君(右)。

## 屋上 最新設備で施設の安全性を後押し

屋上に出ると、この建物の特徴ともいえる構造に柱を束ねたメカニカルシャフトとその内部を走る配管類の構造があらわになる。そして、太陽光発電や高圧受電設備を利用した空調設備など、この施設の動脈ともいえる供給設備を見ることができる。電力会社より高圧で受電するためのキュービクル式高圧受電設備は、コンデンサーやその他の保安装置などの機器一式も兼ね備え、電気の流れを制御・管理。6600Vで受電した電気を、キュービクル内で100Vまたは200Vといった電圧に変圧し、各教室や実験室などへ電気を供給している。さらに、ガスヒートポンプの導入により、停電時も冷暖房・照明が使用可能に。災害などによる停電時でも発電した電力で空調と照明を使い続けることができる。ガスと電気の両輪により、電気の安定供給を実現することで、施設利用者の安全性を確保している。



1階から屋上までを貫くメカニカルシャフトと呼ばれる空間



外気と室内排気の間で熱交換を行う外調機が並ぶ



ガスエンジン駆動式のエアコン、ガスヒートポンプが2台

学修や研究に打ち込むのは学生の本分ですが、課外活動もまた、人間形成や生涯の良き友を得るために有益な場です。今回は世田谷キャンパスの「準硬式野球部」、横浜キャンパスの「新聞会」、等々力キャンパスの「等々力祭実行委員会」の3団体を取材。活動内容をご報告するとともに、所属する学生たちの充実したキャンパスライフをお伝えします。

世田谷  
キャンパス

## 準硬式野球部

“自分たちで考える野球”で悲願の1部リーグ昇格を達成



### 顧問

小林 志好 (機械工学科 准教授)

### 学生責任者

北村 豪 (社会メディア学科 2年)

### 部員数

27名 (マネージャー4名)

### 主な活動

4月 春季リーグ戦

5月 春季リーグ戦 / 新入生歓迎会

6月 OP戦

7月 OP戦

8月 OP戦 / 合宿

9月 秋季リーグ戦

10月 秋季リーグ戦

11月 OP戦 / 納会

3月 OP戦 / 関東選手権

### 準硬式野球には硬式とは違った面白さがある！

皆さんは硬式野球と準硬式野球の違いをご存知ですか？ルールはほぼ同一ですが、決定的な違いはボールです。準硬式球は表面こそ軟式球と同じ合成ゴム製ながら、中身は硬式球と同じ構造。感触は軟式球、重さは硬式球に近く、バットに当たるとゴムの反発もあって硬式球より遠くへ飛ぶそうです。「バットの芯を外しても、準硬式では内野の頭を越すことが多い。そこが面白さであり、難しさですね」(内山瑛斗君・都市工学科3年・主務)。「縫い目に指がかかりにくいから、投手が変化球を投げづらいのも特徴。硬式より完全に打者が有利で、試合では二桁得点もザラです」(西村聡悟君・建築学科3年)。つまり準硬式は、硬式とは別種の深みを備えた野球といえるのです。

とはいえ、都市大準硬式野球部の面々は、最初からそこを知った上で入部したわけではありません。多くの部員が硬式野球部や軟式の野球サークルと比較検討した上で、活動方針や雰囲気を魅力に感じ、たまたま同部に入部したようです。「大学は勉強が忙しいから、練習日が多い硬式野球部では大変。かといってサークルでは物足りない気もした。当部が自分の生活サイクルに一番フィットしたんです」(鈴木雅人君・情報科学科4年・前々キャプテン)。

練習日は水曜と土曜。世田谷キャンパス近くの多摩川グラウンドにて2時間半から3時間程度、自分たちが考えたメニューをこなしています。「指導者がいない分、“やらされている”感じがせず、野球がさらに好きになりました」(戸田康太君・都市生活学科3年・前キャプテン)。「限られた時間内で密度の濃い練習をしています。僕は一人暮らしのためバイトや家事もやらなくてはならない



3月に横浜スタジアムで行われた、関東選手権大会の東洋大学戦。プロの球場でプレイできるのは、野球好きとして大きな喜びです



2018年の夏合宿は前年に引き続き、尾瀬に行きました。厳しい練習の後にはバーベキューや花火などのお楽しみもあり、部員同士の絆が一気に強まります





内山 斗斗君はキャッチャーとしてチームをガッチリまとめあげたほか、主務として大会運営などでも活躍しました。



“自分たちで考える野球”を部員たちが強く意識するようになったのは、この鈴木雅人君の功績が大。内野手。



同部マネージャーを務めるほか、学科研究会や学外運動系サークルにも所属し、多忙な大学生活を送る岡芹彩香さん。



永田 恵袈さんは静岡から2時間半かけて新幹線で通学。愛嬌ある性格で、上と下の繋ぎ役として活躍しています。



吉田 龍成君はムードメーカー。試合でチームの士気が下がりそうな場面を、彼の一声が何度も救いました。内野手。



今嶋 優貴君は高校で一度野球から離れましたが、大学で復帰。練習を一度も休んだことがない頑張り屋です。外野手。



TAP1に参加し、半年間活動できなかったものの、信望の厚さからこの秋より新キャプテンとなった北村 豪君。外野手。



研究熱心に加え、熱い性格の戸田 康太君。足が速く、都市大の機動力野球のキーマンとして活躍しました。内野手。



部一番の長身の西村 聡悟君。1部リーグ秋季大会では首位打者を獲得し、新聞東リーグ選抜入りしました。投手&外野手。



松澤 龍君は1年生からリーグ戦に出場。ぱっと見は大人しい感じですが、試合では闘志溢れるプレーの連発。外野手。

のですが、このペースで助かっています」(吉田龍成君・情報学科2年)。

## 小柄な部員が多い分、機動力で試合をかき回す

都市大の準硬式野球部にとって2018年は飛躍の年となりました。所属する新聞東準硬式野球連盟において長らく2部リーグに甘んじていましたが、春季2部リーグで優勝し、1部・2部の入れ替え戦に勝利。見事1部リーグ昇格を果たしたのです。しかも続く秋季1部リーグでは4位と好成績を残せました。「1年から4年まで、部一丸で戦った結果だと思えます。通常3年生は春季リーグで引退するのですが、秋季リーグまで出場してくれました。また4年生の先輩も就職活動に目処のついた方々が何名か戻ってきてくれたお陰で、戦力が厚くなったんです」(北村豪君・社会メディア学科2年・新キャプテン)。

ちなみに都市大準硬式野球部は、どのようなプレースタイルなのでしょう。「僕らは他と比べて小柄な部員が多い。だから力でもねじ伏せるのではなく、頭を使った野球を心がけています」(戸田君)。「攻撃では足を絡めて、守りでは守備位置を細かく変えてと、とにかくよく動き回るチームです」(内山君)。

都市大準硬式野球部は指導者がいないため、試合時の監督的な役割はキャプテンや主務が務めています。「だからか、とてもチームの結束力が高く、良い雰囲気です」(今嶋優貴君・都市生活学科2年)。

チームワークの良さは取材時の部員たちの雰囲気からも十分窺えました。「高校で野球をやっていたときは部活を楽しみに感じたことはありませんでしたが、いまは練習のある日が楽しみ。大学生活に良いメリハリがついています」(西村君)。「初めて部を見学に行ったとき、全員同じ学年なんじゃないかと思うくらい和気あいあいとしていました。実際入ってみると先輩方はとても優しく、勉強の面でもいろいろアドバイスをもらっています(笑)」(松澤龍君・都市工学科1年)。「一年に一度の合宿のほか、有志が集まっているいろいろなところに遊びに行っています。これは部の雰囲気がいい証拠」(岡芹彩香さん・自然科学科3年・マネージャー)。「性別を超えてずっと付き合えるいい仲間ができたと感じています」(永田恵袈さん・都市工学科1年・マネージャー)。

自分たちで考える野球に加え、このチームワークも武器に、週に二度の練習で1部リーグ昇格を果たした準硬式野球部。今後の活躍も期待しています！



9月には3年生の有志が集まり、奥多摩でラフティングを体験



秋季1部リーグでは、1部に昇格したばかりにも拘わらず4位と善戦しました。写真は日大理工戦

秋季1部リーグではとりわけ西村聡悟君が大活躍。6割1分の打率で首位打者に輝きました



逆転タイムリーを放った直後のベンチ風景。ホームインした選手をハイタッチで迎えます



# 新聞会

休眠状態からウェブに活路を見出して見事再生!



顧問
山崎 瑞紀 (社会メディア学科 准教授)
学生責任者
枝迫 雄大 (環境創生学科 2年)
部員数
28名 (男子部員21名、女子部員7名)
主な活動
4月 入学式取材、花見、新歓
5月 体育祭取材
6月 横浜祭取材
7月 取材日帰り旅行
9月 合宿
10月 大学と保護者との連絡会取材
11月 世田谷祭・等々力祭取材
12月 追い出し
1月 新年会
3月 四送会、学位授与式取材

## まず8人のオタクが集って会を再始動

大学の広報的な役割も担う大学公認の特殊団体として、他の課外活動団体とは区別されている都市大の新聞会。他大学の新聞会同様に歴史も古く、1954年から新聞(旧武蔵工大学生新聞)を発行してきました。しかし最近では活動が停滞し、2017年の段階ではほぼ休眠状態となっていました。

それを救ったのが、枝迫雄大君(環境創生学科2年・部長)率いる“新生”新聞会でした。「じつは僕は外部のメディア系サークルに所属してまして、その団体の活動の一環として、一年生の9月頃、横浜キャンパスの学生支援センターに取材協力をお願いに立ち寄ったときに、担当職員の方から“メディアに興味があるなら、都市大の新聞会をなんとかしてみませんか?”とお話をいただきました。新聞会ではどんなことができるかを伺うと、大学の広報的な記事のほか、一定の基準を満たせば、自分たちの興味のある記事をどんどん載せてもよいとのことでしたので、俄然興味が湧いたんです」(枝迫君)

新聞会を再生させるために枝迫君がまず考えたのが、新聞の形式を“紙”からウェブサイト主体に移すことでした。紙として発行する場合は時間も労力もかかり、学業が忙しい自分たちが速報性ある記事を載せることは困難。また配布先も学内に限られてしまうため、作成した記事をより広範囲の方に読むってもらうためにもウェブがベストと考えたようです。

そんな考えに賛同してくれるメンバーを人づてに探し始め、秋には枝迫君を含む8名のメンバーが揃いました。「メディアに興味があるだけでなく、何か特定の分野に造詣の深い人を中心に声をかけました。そういう人が自分の好きなことを発信していったら面白いと思ったんです。そこには、各分野の専門家が取材執筆している既存のネットメディアに対する憧れもありました。それでウェブサイト作りに詳しい人はもちろん、カメラや写真に興味のある人、鳥の生態を研究している人、将来は山に入ってマタギになる夢を持っている人……と、様々な分野にわたる8人のオタクが集まったんです」(枝迫君)



執筆作業はすべてオンライン。PC、カメラ、プリンタ等、活動に関わる設備も充実しています



ラジオ局J-WAVEのサービス、「Team J-WAVE」にオフィスとして登録。その一環として会の活動について、実際にラジオ番組へ出演して、発信



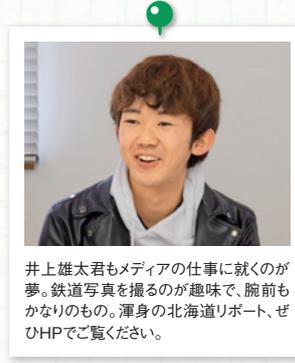
都市大TAPプログラムに参加した際、オーストラリアのYANCHEP SUN CITY社へ取材に伺いました



抜群の行動力で新聞会再生の陣頭指揮を取った枝迫雄大君。TAP(東京都市大学オーストラリアプログラム)に参加した際のレポートが好評。



メディアの仕事に関わりたから、勉強のつもりで入会したという暮井なつみさん(社会メディア学科1年)。記事を書くことの難しさを実感。



井上雄太君もメディアの仕事に就くのが夢。鉄道写真を撮るのが趣味で、腕前もかなりのもの。渾身の北海道レポート、ぜひHPでご覧ください。



ウェブ開発のオタクとして招聘された豊田直哉君は会の頭脳。同会に入ること、外部の多くの人との接点が得られるのがメリットと言います。



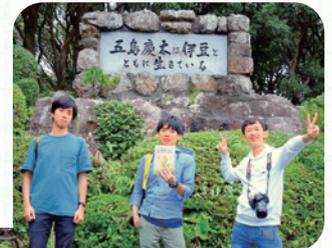
古山諒君は子供の頃から鳥が大好きで、大学でも研究対象に。新聞会の肩書きがあれば、他大学の先生の話も聞けると考え入会を決めました。



卒業生たちの現状追跡のほか、幾つかの食レポ企画を温めているという矢萩涼君(環境創生学科1年)。彼もメディアの仕事に興味があるそう。



新聞会のホームページ  
<https://tcuprs.com>



伊豆での研修。伊豆急行を中心に、五島慶太に関するポイントを巡りました



伊豆の風情ある街並みもしっかり記録。町の人に「都市大から来ました」と伝えるととても喜ばれました



## 手探り状態ながらプロ顔負けのウェブ新聞を配信

こうして彼らは2018年3月から本格的に「東京都市大学新聞」をウェブで始動。「学内総合」「特集」「イベント」「課外活動」「国際関連」といった多彩なカテゴリで記事をアップしています。ちなみに、見やすく綺麗なサイトデザインは豊田直哉君(環境マネジメント学科2年・副部長)が中心となって行いました。「枝迫君に誘われて参加しました。僕はウェブ開発が多少でき、セキュリティ関連もCTF(セキュリティの大会)に出場するなど独学で勉強してきたので、そのスキルが役に立つと思われたのでしょう。僕自身、大学内で自分なりにアクティブに活動できる課外活動を探していたので、ちょうど良かったです。このウェブサイトが学生と学外を結ぶプラットフォームになればと思っています」(豊田君)

彼らのウェブサイトは学内外での評判も上々。かなり順調に再スタートしたかのように思えますが、会員たちによればまだまだ課題は多いようです。

「一旦休眠状態だったため、僕らには取材の仕方や原稿の書き方を教えてくれる先輩がいないんです。だからひとつの記事をアップするまでに時間がかかってしまう。一度勉強会みたいなことをしたほうがいいかもしれないですね」(古山諒君・環境創生学科2年)。「新聞であることにこだわるあまり、ちょっと硬めな記事が多い気がしています。実際会員たちから、もう少し気軽に読める記事があってもいいのではという声も上がっています。硬軟のバランスをどうしていくか、今の悩みどころですね」(枝迫君)

今後は枝迫君が当初目指した専門性の高い記者による記事も徐々に増える予定とのこと。実際取材時には、鉄道好きの井上雄太君(社会メディア学科1年)が8月末から9月にかけて北海道の鉄道事情を取材した記事がそろそろアップされるタイミングでした。

「取材中、9月6日の北海道胆振東部地震に遭遇しました。新聞会のツイッターでも現地の被災情報を伝えたのですが、災害時のメディアのあり方を考えるいい機会になりました。最近その体験を絡めた記事をようやく書き上げ、今は校正している段階です」(井上君)

なお、他大学の新聞会はいまだ紙が主体で、ウェブに本格的に軸足を移したところは少数。ひょっとして彼らの活動は、大学の新聞会のあり方に革新を起こすかもしれません。大いなる可能性を秘めた彼らの活動から目が離せません。



新入生歓迎会は色々な話題で盛り上がりました



YAHOO! 本社で開催された、神奈川にある大学のメディア系ゼミが集まる「メディアキャンプ」にも参加。メディアの役割や、その心構えまで、その専門へ進む学生たちとともに学びました



世田谷祭にて株式会社コイワイのブースへ取材。新時代の金属加工についてその道のプロからお話をお聞きすることができました

等々力  
キャンパス

# 等々力祭実行委員会

地道な活動こそが、大輪の華を咲かせる力に



## 顧問

西山 敏樹(都市生活学科 准教授)

## 学生責任者

鏡 康平(都市生活学科 3年)

## 部員数

47名(男子部員28名、女子部員19名)

## 主な活動

4月 新入生歓迎会

5月 体育祭

6月 横浜祭

7月 ナイトラリー／夏祭り

8月 等々力祭交流祭

9月 夏合宿

10月 等々力祭りハーサル

11月 世田谷祭・等々力祭／引退式

12月 クリスマスパーティ

1月 冬合宿

2月 餅つき大会

## 学内だけでなく企業や社会との繋がり大切さを学ぶ

春からこつこつと準備を重ね、今年で10回目となる節目の『等々力祭』を大いに盛り上げた実行委員会のメンバー。記念講演会や交流サロン、大交流会など、例年以上に様々な記念イベントを企画し実現するまでには、実行委員会のメンバーを中心とした多くの学生たちによる地道な努力がありました。

「等々力祭は、我々実行委員会の集大成となる一大行事。在学生はもとより、ご家族や卒業生、近隣地域の方々などにもキャンパスを開放して、都市大の学びを見て、知って、体験していただくために、様々なイベントを企画しました」(鏡 康平君・都市生活学科3年・実行委員会会長)。さらに、企画立案から運営までをスムーズに行うためには、大学側との打合せ・調整など、メンバー全員が協力し合って進められるような環境作りが欠かせません。そのためにも会長の役割は重大です。「企画を成功させるためには1～2年生の協力も必要になるので、しっかり彼らの意見を取り入れることも必要でした。普段からコミュニケーションを取ることで、下級生と良い関係を築くことの大切さを改めて実感しました。また、学生と大学、その両方の立場にたって、双方の橋渡しの役割にも注力しました。実行委員会会長という立場を通して、企業でいうところの中間管理職的な苦悩を経験することもできました」(鏡君)

学園祭をより楽しく、充実したイベントにするためには、広報部の活動も欠かせません。景品や参加賞として学園祭の来場者へ配布する商品を集めるために協賛企業との交渉を行う、いわば実行委員会の営業担当といえます。「協賛企業に物品類の提供をお願いするために、夏休みの期間を使って600社近くに電話を掛けました。企業では既に予算組みがされていた後だったこともあり、思うような成果を上げることができませんでした。スタート時期を5月くらいに早めることが必要だったようです。この経験を是非来年に、生かしてもらいたいと思います」(進藤裕太郎君・都市生活学科2年・広報部協賛担当)



近隣の等々力小学校の夏祭りに参加。ラムネを配りました



夏合宿では皆で協力して装飾を製作します



6月に横浜キャンパスで開催された「横浜祭」にも参加



学園祭当日の会場警備や見回りをしたりと、来場者たちを安全面からサポートした鈴木貴智君。大きな事故もなく無事に学園祭を終えて一安心。



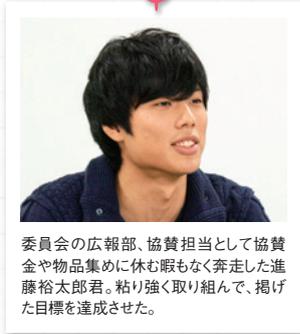
委員会の会長として学生と大学側との間に入り予算や企画の調整に注力した鏡康平君。3年間の経験を活かして大いにリーダーシップを発揮した。



学園祭を盛り上げようと、積極的にイベントや企画を提案した矢田菜那子さん。恒例のピンゴゲームに加え、新たな企画も成功させた頑張張り屋。



新入生歓迎会はボーリング大会で大盛り上がり!



委員会の広報部、協賛担当として協賛金や物品集めに休む暇もなく奔走した進藤裕太郎君。粘り強く取り組んで、掲げた目標を達成させた。



物品担当として、備品の発注や管理業務など、緻密で細かい作業を担当した佐々木菜緒さん。学園祭を陰で支えた、縁の下の力持ち的存在だ。



等々力祭を飾るバルーンリリース。皆で風船を準備し、参加者へ配ります



夏合宿を通じてみんなの絆が深まりました



【等々力祭】多くの協賛企業のお陰で学園祭が盛り上がっているのです!

## 目標に向かってやり抜く力を身に付ける

大勢の来場者に学園祭を楽しんでもらうためには、バラエティ豊かなコンテンツを準備することが大事。そこで活躍を期待されるのが企画部です。「昨年好評だった、地元、等々力商店街のゆるキャラ『とどロッキー』と尾山台商店街のゆるキャラ『尾山オッポン』には今年も引き続き協力してもらい、教室でキャラクター体操を実施。相変わらずの人気ぶり、近隣の子供たちで大いに賑わいました」(矢田菜那子さん・都市生活学科2年)。さらに、今年は新たな企画にもチャレンジ。「今年は、東京急行電鉄の鉄道線の広報活動の一環として誕生したキャラクター『のるん』を呼ぶことに。企画書を作成し、渋谷にある東急電鉄本社にプレゼンに行きました。担当者を前にして、提案内容を説明したときはとても緊張しましたが、担当者の皆さんは熱心に聞いてくださり、私たちの提案を快諾してくれました。とても嬉しかったです」(矢田さん)。

協賛物品が集まり、企画内容が固まってくると学園祭のおおよその規模が決まります。企画数に合わせて、テントや物品類を並べる長机やパイプ椅子、さらには模擬店用の調理器具類など、什器やレンタル物品の手配が必要に。「企画ごとに、レンタル物品の申請をしてもらい、それをリスト化して集計し、手配していきます。パイプ椅子は100脚以上にも。一脚ずつ管理するために手作業でナンバリング。時間がない中での作業はとても大変でした」(佐々木菜緒さん・都市生活学科2年・管理部物品担当)また、「レンタル物品の破損や紛失、不具合などの問題にも対応。常に倉庫で物品類を管理していなければならず、2～3時間おきに交代しながら作業に追われていました」(佐々木さん)

近隣の子供たちも大勢参加した学園祭。みんなが安心してイベントを楽しむためには、来場者たちの安全面の確保も重要。「企画が安全かつ適切に運営されているかを確認するため、会場内を巡回したり、ゴミ箱のゴミ回収などを行いました。巡回していて立入禁止区域の表示があいまいで困りましたが、マニュアル化して後輩に引き継ぎたいと思います」(鈴木貴智君・都市生活学科2年・管理部警備担当)

諸問題への対応や解決策を、これらのイベントを通じて実践的、体験的に学んだ委員会のメンバーたち。自ら考え、やり抜く経験が社会で生き抜く力となるでしょう。



等々力祭のテーマ「心」の文字に一つひとつメッセージを添えてもらいました



【等々力祭】でんでん太鼓作りは子どもたちに大人気



【等々力祭】無事に学園祭を終えて味わう達成感とはじける笑顔

## 第89回 世田谷祭

### 様々なことにチャレンジ!

第89回 東京都市大学 世田谷祭実行委員会 会長 笹井 雅仁  
工学部 機械システム工学科 3年

今年の世田谷祭は「究(きわみ)」というテーマの下で、運営や新しい発見をすることなど様々なことにチャレンジをしながら準備してきました。

大きな試みとしては、昨年度まで屋外のメインステージで行っていたTOSHIROCK FESTIVALのステージを体育館に移し開催したことです。今までとは違うことに困惑しながらも来年度に向けての新しいチャレンジでもありました。

そして、企画・展示の都市大Expo2018では企業の方のご協力で鑄物の講義や子供鑄物教室を開催していただきました。また、武蔵工業大学の学生であった落語家の柳家小糸ん様には落語やトークショーを、小説家の羽田圭介様には「小説家とは～本の魅力を考える～」をテーマにご講演いただきました。お二方の講演会はかなり多くの来場者からご好評をいただくことができました。終始楽しんでいただいている様子を見ることができ、運営する者としてとてもうれしく思いました。

天候も良かった1日目の最後のメインステージで行われたジャンル対抗カラオケ大合戦は、ステージ上で歌っている人はもちろんのこと、それを見ている学内生や観客の方々も一緒に盛り上がっていました。また、昨年度に引き続き地域のキャラクターである「オッポン」と「とどろッキー」がキャンパス内に現れると、大学生からファミリー層まで様々な方が喜んで交流を深めていました。

今年度の世田谷祭を開催するにあたり、ご協力いただきました大学関係者の方々、地域・企業の皆様、今年度参加していただいた団体の方々、上部特殊団体の方々と、多くの方に支えられ、無事開催することができました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。また、来年度は節目の第90回を迎えます。都市大の学園祭としては等々力祭が今年度第10回を終え、節目の学園祭が続きます。同日開催の等々力祭に負けないよう皆さんに楽しんでいただけるような運営や企画を考えていきますので、第90回世田谷祭を楽しみにお待ちしております。そして、都市大の学園祭へのご来場をお待ちしております。

## 第10回 等々力祭

### 心の触れ合いを大切に新たな挑戦

第10回 東京都市大学 等々力祭実行委員会 会長 鏡 康平  
都市生活学部 都市生活学科 3年

平成30年度第10回東京都市大学等々力祭は「心」をテーマとし、皆様の心に残る等々力祭をお見せするために、新しい試みや心が通じ合えるような挑戦をしました。今年度は11月3日、4日に等々力祭が開催され、例年を上回る多くの方にご来場していただき大盛況となりました。

今回は、1日目の目玉企画として在学生と卒業生、教職員がつながれる「等々力大交流会」を実施しました。平本一雄初代都市生活学部長と近藤雅雄初代人間科学学部長による「記念講演会」や、在学生と卒業生をつなぐ「交流サロン」、ダンス部 UP BEATによるフラッシュモブ、卒業生同士の交流の場としてのホームカミングデーと共催企画「大交流会」などのイベントを実施しました。そして2日目はNON STYLEさん、囲碁将棋さん、ひよっこりはんさんの3組のお笑い芸人による「お笑いライブ in TODOROKI」を実施しました。お客さんの誰もが笑顔で最高に盛り上がるライブとなりました。

その他の企画として、「BIG風★船FES(バルーンリリース)」や「FANTASY LAND(キッズパーク)」、「アートメイク工房」といった例年ご好評をいただいている企画に加え、お化け屋敷の「廃寺」やゲームの「目指せ!大富豪」といった新企画で多くの方々にご参加いただけました。また、商店街キャラクターの「オッポン&とどろッキーと仲良くなるよ!」では、地域の子どもたちと一緒に踊り、会場全体に一体感が生まれました。

エンターテインメント企画だけでなく、アカデミック企画では研究室展示や研究室による教室企画などで多くの研究室の先生、学生にお手伝いいただき、普段学生が学んでいる内容を発表し、ご覧いただける機会となりました。

改めまして、今回第10回等々力祭を開催するにあたり、大学関係者の皆様、地域の皆様、企業の皆様、模擬店教室参加団体の皆様、上部特殊団体の皆様、多くの方々のご協力により等々力祭は成功を取めることが出来ました。この場を借りて厚く御礼を申し上げます。また、ご来場いただいた皆様、誠にありがとうございました。

来年度は第11回という新しい等々力祭を後輩達が作っていきます。第10回を終えて新しい第一歩を踏み出した等々力祭になり、今年度とはまた違った一面をお見せできると思いますので、来年度も皆様のご来場を心よりお待ちしております。

### 課外活動短評

- **ラグビー部** 2018年度 関東理工系ラグビーフットボール大会において 1部 第1位
- **サッカー部** 平成30年 東京都大学サッカーリーグ戦において 4部 第1位 3部昇格
- **ソフトテニス部** 平成30年度 関東学生ソフトテニス秋季リーグ戦において 女子:10部 第1位 9部昇格
- **バドミントン部** 平成30年度 関東大学バドミントンリーグ戦において  
・春季 男子:4部 第1位/女子:5部 第2位  
・秋季 男子:4部 第1位/女子:5部 第1位 4部昇格
- **ゴルフ部** 平成30年度 秋季関東大学対抗チャンピオンズカップにおいて 第2位 Fリーグ昇格
- **硬式野球部** 平成30年度 東都大学野球秋季リーグ戦において  
・木村 快さん 3部 最優秀投手/最優秀防御率
- **卓球部** 関東学生卓球リーグにおいて  
・諏訪 正頼さん 特別賞受賞
- **準硬式野球部** 平成30年度 新関東大学準硬式野球リーグ戦において 春季 2部 第1位 1部昇格  
・内山 瑛斗さん 春季 2部 最優秀選手  
・西村 聡悟さん 春季 2部 最優秀投手/秋季 1部 首位打者  
・鹿内 颯太さん 春季 2部 首位打者
- **バスケットボール部** 第58回 関東大学バスケットボール新人戦において 予選ブロック 第1位  
2018年度 関東理工系大学夏季リーグ大会において  
・宇都宮 優喬さん 1部 アシストランキング 第1位
- **陸上競技部** 第15回 14大学対抗陸上競技大会において  
・古木 健二郎さん 男子砲丸投 第1位  
第50回 関東理工系学生対校陸上競技大会において  
・古木 健二郎さん 男子砲丸投 第1位  
・飯島 宏太さん 男子400m 第1位
- **将棋サークル一歩** 平成30年度 関東大学将棋連盟春季団体戦において  
・C2級 第2位 C1級昇格

## 世田谷祭



## 等々力祭



## バンドフェスティバル

# 熱気と興奮に包まれた バンドフェスティバル

平成30年度 文化団体連合会 本部長 中嶋 宙  
工学部 機械システム工学科 3年

10月6日(土)に東京都世田谷区のライブハウス「LIVE STAGE GUILTY」で文化団体連合会主催のバンドフェスティバルを開催いたしました。

バンドフェスティバルは東京都市大学文化団体連合会に所属する6つの軽音楽団体より、団体内で選出された計12組のバンドが出演する合同ライブイベントです。

各軽音楽団体の日頃の活動の成果を披露することで、他の団体との違いや共感性を認識し、より深い交流へつなげることを主な目的としています。また11月に開催される東京都市大学の学園祭「世田谷祭」の野外ステージでのライブに出演するバンドの選出も兼ねているため、軽音楽団体主催の合同ライブイベントと比べ、出演するバンドのクオリティや緊張感は一味違ったものとなっております。

演奏技術は勿論ですが、ライブを盛り上げるパフォーマンスやMCなども審査の対象となりますので、各バンドの個性を活かしたユニークな演出や工夫を凝らしたものになっていました。演奏する音楽のジャンルも多岐にわたり、激しいパンクやメタル、体を揺らしながら聴きたくなるようなR&BやJ-POPなど、飽きることなく最後まで楽しめる内容となっていたと思います。

今年も各出演バンドのレベルが非常に高く、上位が混戦となる非常に盛り上がったライブとなりました。来場者数は200人を超え、ライブハウス内は終始熱気と興奮に包まれた熱いイベントになったと思います。今回のライブで改善すべきところを修正し、次回は更なる盛り上がりを見せられるよう、今後も努力して参ります。文化団体全体の更なる活性化に向けて活動していきますので、バンドフェスティバルと共に文化団体連合会を引き続きよろしくお願いたします。



## 事務局便り

後援会の皆様には、日頃より様々な大学行事へのご理解、ご協力をいただいております。深くお礼申し上げます。2018年は大学の学生に対する支援に関するニュースも多かった年であるように思います。学生のニーズに対応していくことは非常に重要です。

本学もいくつかの取り組みを行っています。一つは、学生相談システムを充実させたことです。相談室の他に24時間の電話対応も取り入れました。二つは、学生の出席管理をオンラインで行うようにしたことです。三つは、後援会も関わり

のある学業、課外活動で顕著な成果をあげた学生に対する表彰を充実させたことです。これらの学生支援には後援会のご理解、ご支援があったからと心得ます。

保護者との連絡会は保護者の皆様自身の、あるいは保護者を通じた学生のニーズをくみ取る重要な機会です。学生の立場に立った学生支援を続けてまいりたいと思っております。皆様のご理解、ご協力およびご意見を今後ともよろしくお願申し上げます。



世田谷キャンパス副学生部長  
工学部  
都市工学科 教授  
白旗 弘実

# ◆◆平成30年度◆◆ 「大学と保護者との連絡会」実施結果 ◆◆

平成30年度の「大学と保護者との連絡会」は9月1日(土)から始まり、最終日の10月6日(土)東京・横浜地区までの間、全国20会場において開催されました。各会場の出席状況は以下のとおりで、各地区において理事・評議員の方々には運営等にご協力いただきました。

## ◆ 会場別出席世帯数 (対象県以外からの出席者を含む)

開催地	開催日	会場名	出席世帯数
札幌	9月 1日(土)	ANAクラウンプラザホテル札幌	11
仙台	9月 2日(日)	ホテルメルパルク仙台	24
郡山	9月 1日(土)	郡山ビューホテル	13
宇都宮	9月 8日(土)	チサンホテル宇都宮	20
水戸	9月 9日(日)	三の丸ホテル	22
さいたま	9月 8日(土)	ラフレさいたま	23
高崎	9月 1日(土)	高崎ワシントンホテルプラザ	11
新潟	9月 2日(日)	ホテルオークラ新潟	10
世田谷	10月 6日(土)	東京都市大学 世田谷キャンパス	866
等々力		東京都市大学 等々力キャンパス	138
横浜		東京都市大学 横浜キャンパス	216
甲府	9月 8日(土)	アーバンヴィラ古名屋ホテル	6
長野	9月 8日(土)	ホテルメルパルク長野	9
富山	9月 9日(日)	ANAクラウンプラザホテル富山	5
沼津	9月 1日(土)	ホテル沼津キャッスル	24
静岡	9月 2日(日)	ホテルアソシア静岡	25
浜松	9月 1日(土)	オークラアクティシティホテル浜松	18
名古屋	9月 2日(日)	ホテルキャッスルプラザ	10
広島	9月 8日(土)	リーガロイヤルホテル広島	12
福岡	9月 9日(日)	ホテルモントレ・スール福岡	17
合 計			1,480

## ◆ 都道府県別出席世帯数

都道府県名	出席世帯数	前年度出席世帯数
北海道	13	17
青森	2	1
岩手	1	1
宮城	20	20
秋田	3	1
山形	3	2
福島	18	17
茨城	44	55
栃木	23	29
群馬	19	26
埼玉	89	66
千葉	52	51
東京	338	322
神奈川	665	717
新潟	13	16
富山	4	3
石川	3	2
福井	0	0
山梨	12	10
長野	19	18
岐阜	2	1
静岡	89	93
愛知	10	12
三重	2	3
滋賀	0	0
京都	1	2
大阪	1	1
兵庫	1	0
奈良	0	0
和歌山	0	1
鳥取	0	0
島根	1	0
岡山	0	0
広島	12	12
山口	1	0
徳島	0	0
香川	0	2
愛媛	0	1
高知	1	2
福岡	16	13
佐賀	0	0
長崎	1	3
熊本	0	1
大分	0	0
宮崎	0	0
鹿児島	1	0
沖縄	0	0
合 計	1,480	1,521

**TCU-COM**  
2019.January

no.  
**59**

発行・連絡先 **東京都市大学後援会**

〒158-8557 東京都世田谷区玉堤 1-28-1 東京都市大学内 後援会事務局  
電話：03(5707)0104 内線：2227 FAX：03(5707)1160  
メールアドレス：kouenkai@tcu.ac.jp